

年忌法要って何？

40分もかけて何してるんだろう？何のため誰のためのもの？

①自分（参列者自身）が極楽に往生するための修行

②仏様の供養を通して、祖先（ご先祖様）からの

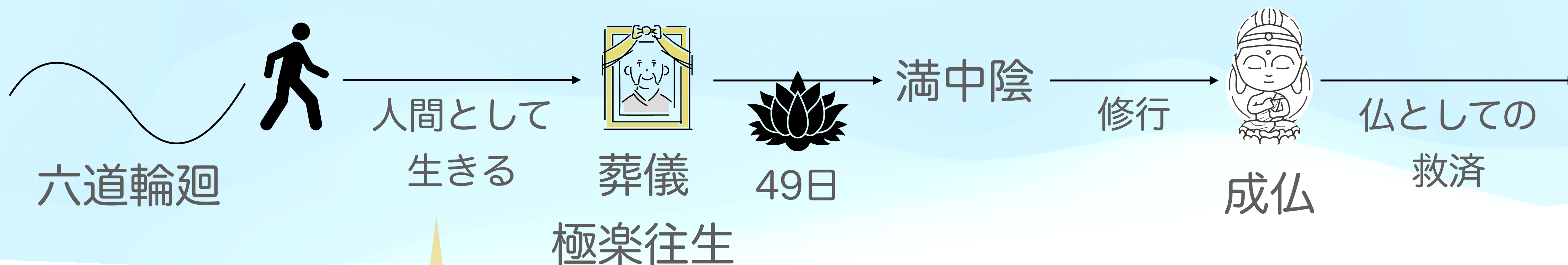
げんそうえころ

還相廻向をいただく

③一族の結束を固める

①自分が極楽に往生するための修行

毎日お念仏唱えていますか？唱えられますか？



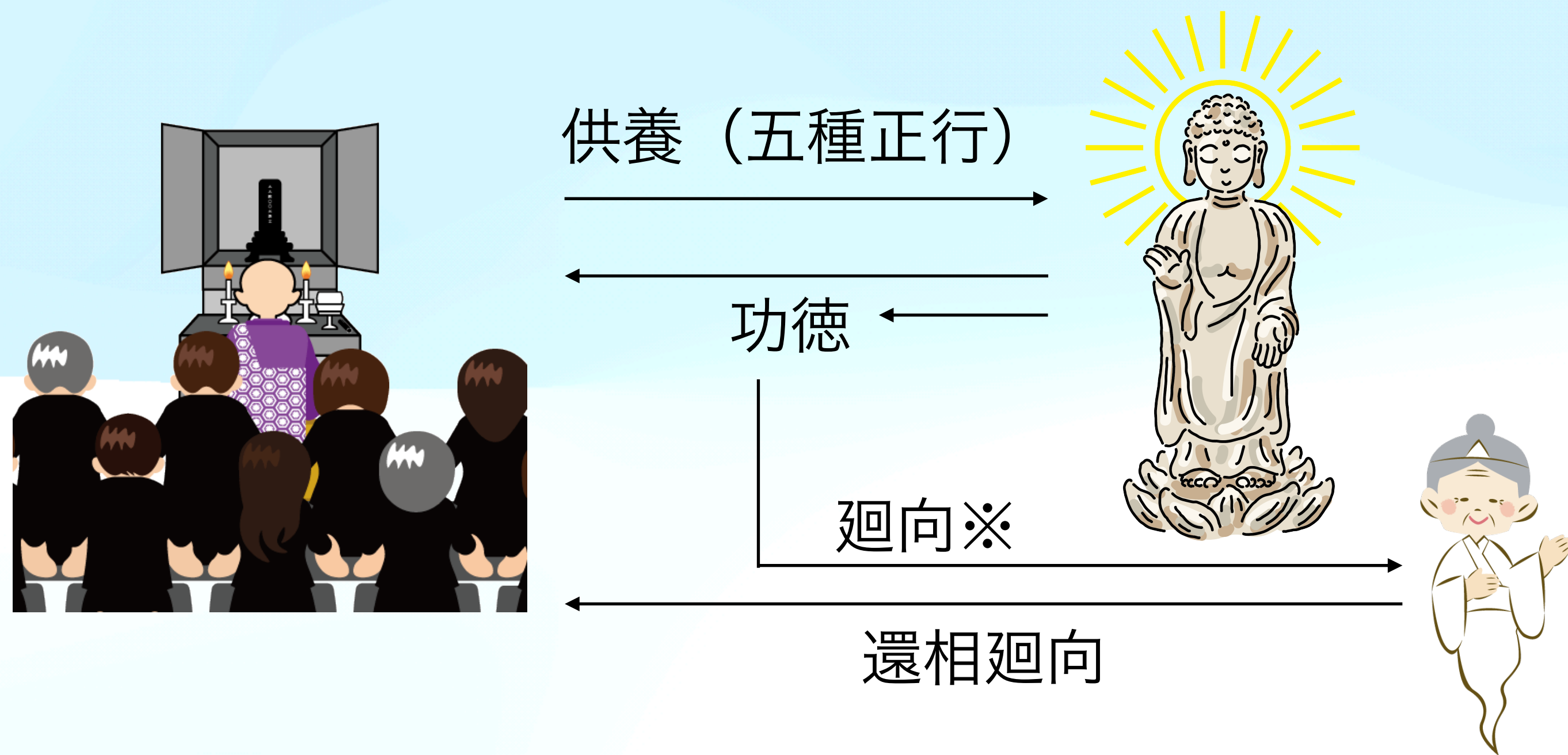
ただひたすら念仏をお唱えする

- ➡ 「三心具足の念仏」となる
- ➡ 臨終の際に極楽往生できる

ひたすらお念仏を唱えるのが難しければ、年忌法要を良い機会としましょう。
お盆・お彼岸などの仏事の際にもお唱えできるとなるとお良いですね。

② 仏様の供養を通して、 祖先からの還相廻向をいただく

こちらからの一方的な供養ではありません

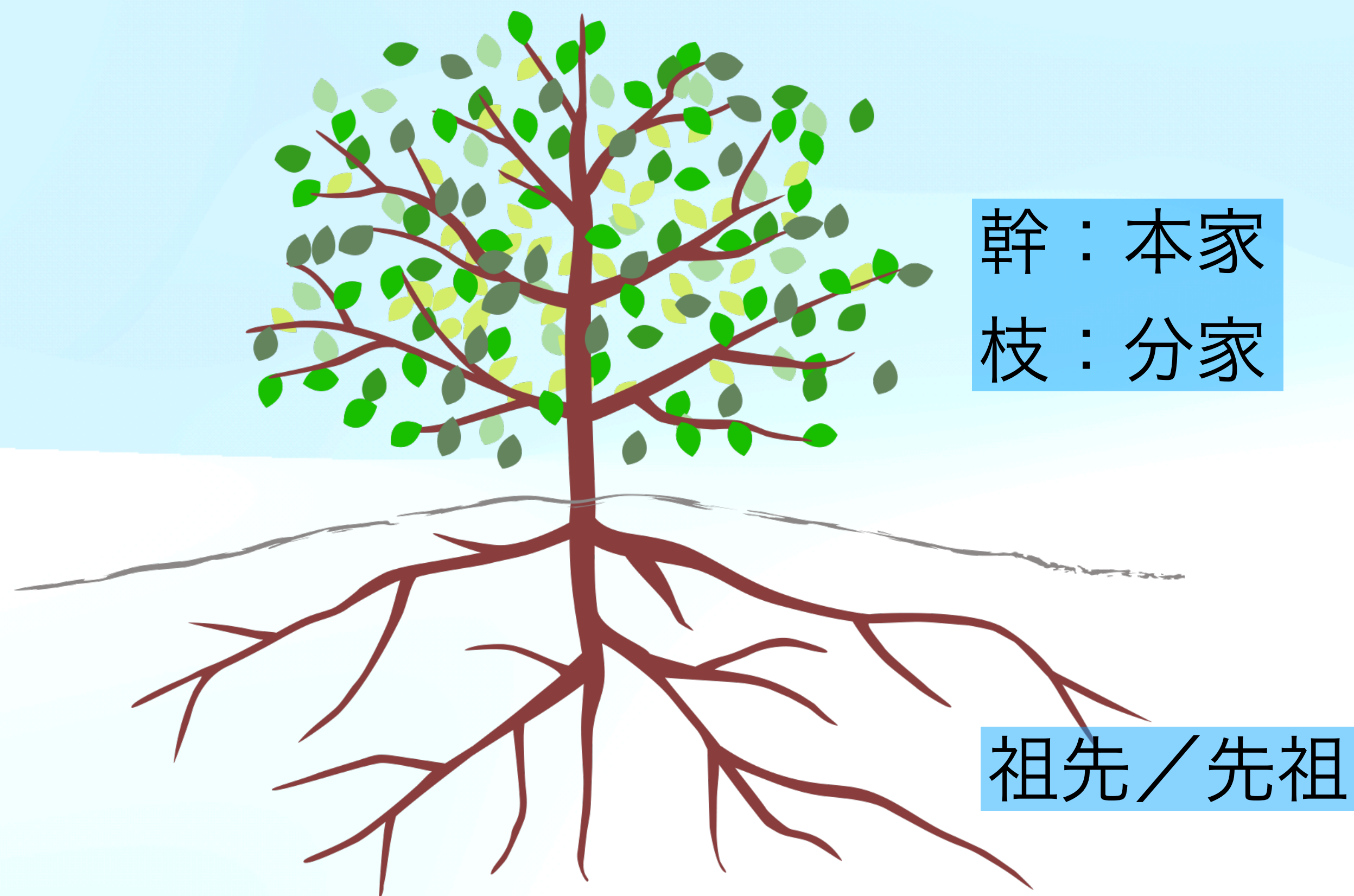


※「往相廻向」という言葉がありますが、これは葬儀の際に、新亡が極楽往生できるように五種正行の功德を廻向することです。年忌などの追善法要での廻向とは異なります。

五種正行は「阿弥陀仏」への供養であり、修行で得た功德を祖先に廻向します。祖先は極楽浄土での修行の功德を、子孫に対して廻向します。

③一族の結束を固める

すでに状況はかわりつつありますが・・・



- ◆根に水・肥料をやるように、祖先を供養してこそ子孫が繁栄すると考えられていました。
- ◆共通の祖先への祈りを一つにして、子孫の成長を披露し、一族のさらなる繁栄を願うために、親族が集まって法要が営まれました。

江戸時代からの「イエ制度」「檀家制度」による名残りですが、時代とともに変わっていくと思われれます。それもまた諸行無常の姿です。